

道徳科学習指導案

6年1組 寺西 克倫

1. 主題名 「幸せな人生」Dよりよく生きる喜び(教材「最後のおくり物」)

2. 研究主題

よりよい未来を「そうぞう」するための道徳性の育成
～自己を見つめ、自己の生き方を考える道徳科のカリキュラム開発～

(1) 主題について

本主題は、高学年の「Dよりよく生きる喜び」の「よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し、人間として生きる喜びを感じる。」という価値をねらっている。人間として生きる喜びとは、弱い自分を乗り越えるだけでなく、自分の良心に沿って生きることであり、人間のすばらしさを感じ、よりよく生きていこうとする喜びである。人間は、よりよく生きようとする存在である一方で、決して完全なものではなく、誰しもが誘惑に負けたり、やすきに流されたりするといった弱さも持ち合わせている。そのため、人間は弱さを受け止め、それを乗り越え誇りを感じることを通して、生きることへの喜びを感じる必要がある。また、人間の行為の美しさに気付いた時、人間は強く、また気高さにもつながる。

この時期の児童は、将来の夢や希望を抱くようになり、自分自身を人間としてより高めたいという思いや願いを持っている。それは、児童が自分自身のことを少しずつ知り、理解していけるようになるからである。一方で、自分に自信が持てなかったり、困難にぶつかって悩んだりすることが少なくない。そのため、様々な機会に、身の回りにいる人間がもっている強さや気高さに気付かせるとともに、そのよさを十分に理解できるようにする必要がある。また、目指す生き方や誇りある生き方に目を向けられるようにしていくことが大切である。

指導にあたっては、「幸せな人生とは」という発問で、生き方に焦点を当てて学習を始めていく。教材の範読後、まず、ジョルジュじいさんの人柄を問い、後の展開で生き方と関連付けられるようにしていく。そして、ジョルジュじいさんの生き方とロベエヌの心情を対比させながら、互いの思いに共感的に迫っていきたい。特に、息を引き取る前にロベエヌに、「幸せを感じたくらいだ」「ありがとう」と言うジョルジュじいさんの気持ちを考えることで、優しさだけでなくジョルジュじいさんの生き方に迫りたい。一方、ロベエヌが「むすこなんです」と言った時や、「最後のおくり物」を受け取った時の気持ちに迫ることで、ロベエヌの生き方に対する気持ちを想像していく。このようにして、人は誰かを支え、誰かに支えられているということ意識することで、誰かのために生きることが誇りある生き方、夢や希望などの喜びのある生き方につながるということに気付くようにする。そして、これからの生き方を考える視野を広げ、相手の立場や気持ちに寄り添って生きていこうとする心情を養えるようにしたい。

(2) 活動構成の仮説～未来そうぞう科と関連を図った道徳科のカリキュラム

道徳科で深めた道徳的価値の理解を活かした活動を、未来そうぞう科の時間に実践できるようなカリキュラムにしていく。道徳科で考えた道徳的価値を意識して、未来そうぞう科に「想像」したり、道徳科で考えた多角的な見方を未来そうぞう科の「創造」の時間に実践したりしていく。そのためには、未来そうぞう科で活かせる道徳的判断力を育み、道徳的意欲や態度を道徳科で養うことが必要であると考え。このように、未来そうぞう科の活動で起こり得ることを道徳科で考える授業構成にすることで、未来そうぞう科の3つの資質・能力の基盤となる道徳性を育んでいくことができる。

3. 指導計画（未来そうぞう科と関連する道徳科の教材の指導計画）

月	教材名		指導内容		主題名	未来そうぞう科の単元との関わり			その他の教科や学 校行事との関連
						A（自分）	B（集団）	C（環境・社会・自然）	
4	1	スポーツの力	D	よりよく生きる喜び	ほこりある生き方	My Life			
	2	命のアサガオ	D	生命の尊さ	せいいっぱい生きる	My Life			
5	7	クラスのきまり	C	規則の尊重	よりよいきまり		友だちタイム		社会科
	11	おかげさまで	B	感謝	感謝の心		友だちタイム	「未来」について	
6	4	それじゃ、ダメじゃん	A	個性の伸長	長所と短所	My Life			
	5	言葉のおくり物	B	友情, 信頼	男女ともしんらいして		友だちタイム		
9	17	ロレンゾの友達	B	友情, 信頼	ほんとうの友達		友だちタイム		
10	29	ブランコ乗りとピエロ(本時)	B	相互理解, 寛容	広く受け入れる心		友だちタイム		
	20	緑の闘士－ワンガリ・マータイ－	D	自然愛護	持続可能な社会			「未来」について	理科, 社会科
	18	みんなで劇を作ろう	C	よりよい学校生活, 集団生活の充実	集団の一員として		友だちタイム		運動会, 音楽会
11	15	母の仕事	C	勤労, 公共の精神	働くことの意義	My Life			
	10	心づかいと思いやり	B	親切, 思いやり	思いやりの心		友だちタイム		
	21	杉原千畝－大勢の人の命を守った外交官－	C	公正, 公平, 社会正義	社会正義の実現			「未来」について	社会科
12	26	地球を一周歩いた男－伊能忠敬－	A	真理の探究	真理を求める心	My Life			
1	28	iPS細胞の向こうに	A	希望と勇氣, 努力と強い意志	終わりにきちょうせん	My Life		「未来」について	理科
	2	34 最後のおくり物(本時)	D	よりよく生きる喜び	幸せな人生	My Life			
	27	その思いを受けついで	D	生命の尊さ	生命のつながり	My Life			
	30	わたしのせいじゃない	C	公正, 公平, 社会正義	いじめをたち切る正義		友だちタイム		
3	33	自分にできること	C	勤労, 公共の精神	公共のために働くこと	My Life		「未来」について	
	35	のぼさんの夢－正岡子規－	D	よりよく生きる喜び	夢をいだき生きる喜び	My Life			国語科, 社会科

4. 本時の目標

ロベータに対するジョルジュじいさんの生き方と、「最後のおくり物」を受け取ったロベータの気持ちを考えることを通して、たとえ困難な状況であっても、相手のために行動することが幸せだと感じられることに気付き、相手の立場や気持ちに寄り添ってよりよく生きていこうとする心情を養う。

5. 本時の展開

学習活動	○発問 ・ 児童の予想される発言	指導上の留意点
<p>1. 「幸せな人生」について考える。</p> <p>2. 資料「最後のおくり物」を読んで話し合う。</p> <p>(1) ジョルジュじいさんの人柄を考える。</p> <p>(2) ロベータは「ぼくがつきそいます。むすこなんです。」と言った時の気持ちを考える。</p> <p>(3) ジョルジュじいさんは、幸せを感じて生き、ロベータに感謝をすることができたのかを考える。</p> <p>(4) もう一度、手紙を読んで、ロベータが受け取ったもの（こと）は何かを考える。</p> <p>(5) ロベータはどんなことを決意したのかを考える。</p>	<p>○ 「幸せな人生」とは、どんな人生ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 嬉しいことや喜びがいっぱいある人生。 ・ 自分の目標が達成できたといえる人生。 ・ 誰かを笑顔にできる人生。 <p>○ ジョルジュじいさんの人柄をどう思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 優しい。 ・ 思いやりがある。 ・ 自分のことではなく他の人のために何かができる強い人。 <p>○ ロベータは、どんな思いで「ぼくがつきそいます。むすこなんです。」と言ったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ぼくのせいで、ジョルジュじいさんの体調が悪くなってしまった。何とかして助けたい。 ・ ジョルジュじいさんに恩返しをしたい。できることは何でもする。これまでジョルジュじいさんに支えてもらったから、次はぼくの番だ。 <p>○ どうして、ジョルジュじいさんは「幸せを感じたくらいだ」「ありがとう」とロベータに言ったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の叶えられなかった夢と一緒に追いかけられたから感謝している。 ・ ロベータから、生きる喜びを感じることができたから。 ・ ロベータのことを陰で応援して、自分にできることを精一杯できて、ロベータのために何かできているという達成感でいっぱいだった。 ・ 自分の体は弱くなってしまったが、ロベータを心の底から応援できたから幸せだった。 ・ 自分のことは心配しなくてもいいから、頑張ってもらいたい。 <p>○ もう一度、手紙を読んでロベータが受け取ったものは何だと思えますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 夢を実現するという強い意思。 ・ 俳優になりたいという希望。 ・ 相手のことを考えて行動するという思いやり。 ・ どんな時もあきらめない気持ち。 <p>○ ロベータはどんなことを決意したのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今までのジョルジュじいさんへの感謝の気持ちを、俳優になるという夢の実現で恩返ししたい。 ・ ジョルジュじいさんの分まで生きよう。 ・ 夢をあきらめないで、厳しい練習も頑張ろう。 ・ ジョルジュじいさんみたいに、思いやりの行動ができるひとになろう。 	<p>○ 「幸せな人生」について考えることで、本時の中心になる道徳的価値に迫りやすくする。</p> <p>○ ジョルジュじいさんの人柄を、後の展開で生き方と関連付ける。</p> <p>○ ジョルジュじいさんの行動に気付き、家族ではないのに「息子」と言った、ジョルジュじいさんに対するロベータの気持ちを考えさせる。</p> <p>○ 自分のためだけでなく、ロベータの夢の実現のためにも生きたジョルジュじいさんの生き方と向き合えるようにする。</p> <p>○ ロベータの熱心さに心を打たれ、家族のように心から応援していることもつかめるようにする。</p> <p>○ ロベータはジョルジュじいさんからどんな気持ちを受け取ったのか、「おくり物」から想像できるようにする。</p> <p>○ ジョルジュじいさんの温かい思いやりや優しさに対する気持ちを整理して、前を向いて生きていこうとするロベータの気持ちを意識させる。</p>
<p>3. 本時の学習をふりかえり、分かったことをまとめる。</p>	<p>○ 本時の学習を振り返り、じっくり考えて深まったことや分かったことをまとめましょう。</p>	<p>○ 本時の学習で自覚が深まった事柄を明確に意識させる。</p>

【参考文献】 文部科学省『小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』, 2017年6月

○ どうして、ジョルジュじいさんは「幸せを感じたくらいだ」「ありがとう」とロベールに言ったのでしょうか。

○ 今日の学習で、じっくり考えて深まったことや分かったことを書きましょう。